

## 北海道幌加内高等学校の行動計画（グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II）

全国の農業高校の行動計画		学校において令和4年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローバル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	(1) 地域農家や関連企業が抱える問題をプロジェクトのテーマとして活動します。  (2) 農業学習で得た知識・技能・成果を外部実践します。	・そばを活用したプロジェクト活動の実施（そば殻の活用、そば粉を活用した新商品の開発、販売）。 ・幌加内町新そば祭りでそば提供を実施。	・取り組みや活動は十分に評価できる。活動の継続と成果を形にしていきたい。  ・生徒数の減少による実施方法の改善が必要である。	5
	2 「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います。	(1) G-GAPの取り組みに準拠した農場の生産体制を見直します。	・G-GAPに準拠した栽培管理。	・収穫や出荷調整（保存や保管含む）について取り組む必要がある。	3
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	(1) 農業体験実習を継続実施します。	・町内農家ならびに関連機関で3日間の実習を実施（学校設定科目「農業体験実習」）。	・計画通り実施できており、さらなる充実を図っていく。	5
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	(1) 農業の六次産業教育を推進します。	・学校設定科目「六次産業化概論」「六次産業化実践」の実施と幌高商店会の開催（2回）。	・計画通り実施できており、さらなる充実を図っていく。	5
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	(1) 校内および町内の環境美化に取り組み、エコロジーを意識した町づくりに取り組みます。	・町内清掃活動ならびに町内花いっぱい運動への参加（全校生徒）。	・町内関係機関との綿密な連携が必要である。	5
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	(1) 地域振興に向けて、本校が主体となりそば打ち段位認定会を企画・運営します。  (2) 地域特産品を活用した加工品の開発を目指します。	・そば道段位認定会の開催。  ・関連機関との連携（筋エビ、そば商品、返礼メニューの研究と開発）。 ・手打ち冷凍そばの販売。	・計画通り実施できた。今後も有段生徒が活躍できる場を増やす。 ・本校生産品の計画生産とブランド化の推進を図る。	4
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	(1) 農業に関するAIやロボット技術を学びます。  (2) Society5.0について学び得たことを地域へ発信します。	・農業関連講習会で最先端の農業技術を学んだ（全校生徒）。  ・町政の提言やみどりの食料システム戦略会議でグループ討議を重ね目指すべき未来社会の姿について発表した（2・3年）。	・今後も経済発展と社会的課題の解決に向けて取り組む必要がある。	5
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	(1) 地域の教育力を活かした防災教育を行います。  (2) 農場危機マニュアルの整備をし、常に安全教育の徹底・危機管理意識向上を図ります。	・地元消防署への防災訓練依頼 ・ヒヤリハットの共有 ・雪害対策と未然回避への取り組み。	・現段階では概ね実施できているが、想定外の自然災害対策について準備をしていく。	3